

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーのマジック



縦から横へ
横の繋がりで感動を創ろう

RI会長 ステファニーA・アーチック 2024～2025

富津中央RC会長 神子 恒

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2771 第6回例会 2024. 8. 8 晴

点 鐘：神子 恒 会長

進 行：栗原典子 SAA 城臺彩衣 副SAA

ソング：国歌斉唱 奉仕の理想

よう。】8月は、会員増強・新クラブ結成月間です。

幹事報告

朝月真次郎 幹事

会長挨拶

神子 恒 会長



大変暑い日々が続く中、皆様にはお変わりございませんか。本日お会いできるのを楽しみにしておりました。マザー牧場での移動例会、家族のご参加を頂きジンギスカン鍋に舌鼓、生ビール・ワインで喉を潤し、満たされた後に盛大な花火で例会の終了、楽しく過ごさせて頂きました事、各委員会の皆さん様々のご配慮お疲れさまでした。又、マザー牧場様には現場提供等厚いご配慮に感謝申し上げ、今後ともに宜しくお願い申し上げます。

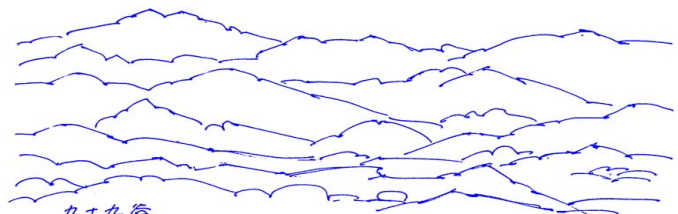
さて、我が家の周りの色景色ですが早くも稲穂に色が入り来週には稲刈りのお話と、新米のお話が出るかなと流石に立秋も過ぎましたので、秋近しなれど暑さはこれから。【皆さんお体を大切にしまし



1. ロータリー財団セミナーのご案内回覧。
2. 「財団室NEWS 8月号」のお知らせ回覧。
3. 学友会ニュースレター発行のお知らせ回覧。
4. ガバナー事務局よりポリオプラス・ソサエティのご案内回覧。
5. 2024年8月「会員増強・新クラブ結成推進月間」のリソースのご案内回覧。
6. 2024-25年度ガバナー月信Vol. 2_8月号のご案内回覧。
7. 「ポリオデー」フォトコンテスト&「ロータリーのマジック」体験談のお知らせ回覧。
8. 米山記念奨学会より学友会主催BBQ大会学友会主催BBQ大会のお知らせ回覧。

報告事項ですが、城臺会員が8月7日(水)木更津東ロータリークラブにて会員増強についての卓話を

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館
Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
293-0043
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



されました。

委員会報告

『親睦ゴルフ大会について』

岡田良弘 ゴルフ担当



第20回富津中央RC杯争奪親睦ゴルフ大会を下記日程で開催いたします。

日時:9月24日(火)6時45分に集合

場所:鹿野山ゴルフ倶楽部

費用:約1万円(各自精算)

参加費:1,000円

今回も袖ヶ浦RCの皆さんが多数参加してくれま
す。会員皆さんの参加をお待ちしております。

『奉仕プロジェクトセミナーについて』

岡元 誠 奉仕プロジェクト委員長



※奉仕プロジェクトセミナーのご案内。

日時:8月24日(土)

場所:三井ガーデンホテル千葉 3F平安の間

点鐘:13:30~17:00(受付13:00)

テーマ:NAA成田空港の持続可能な成長に向け
て

以上会員皆様のご参加宜しくお願い致します。

『誕生祝い記念品について』

白石幸久 親睦担当部長



誕生祝い品について

1. 従来通り
2. 商品券
3. 現金

今後の誕生祝い記念品について、3点の中から
皆様のご意見を伺いたと思います。(挙手で)

結論:多数決の結果、1. 従来通りということに決
定しました。ご協力ありがとうございました。

誕生祝い



平川 恵敏 S24. 8. 24

新橋悠美瑛 S37. 8. 25

誕生一言

新橋悠美瑛 会員



本日は誕生祝をいただきましてありがとうございます。今年には私にとって36年に一度の高運期で、そんな年にロータリーの世界と出会えたことに感謝しています。というのも、本物の智慧を授けて下さる方のご縁を大切にするという年だからです。こちらのRCには素晴らしい本物の智慧を持ち、授けて下さる方ばかりですので、ぜひお智慧を拝借させていただきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。

平川恵敏 会員



誕生祝い頂きましてありがとうございます。8月24日で75歳になります。今まで大過なく過ごすことが出来ました。これからも頑張ってゆきたいと思っております。皆様よろしくお願ひ致します。

『会員の皆様へ理解とお願い』

榎本守男 第5グループAG



暑い日が続いております。クラブの皆様におかれましては酷暑にも負けず、この季節を元気に乗り切ってください。

私事ですが7月はガバナー補佐訪問が集中していた為、自クラブの例会に出席できなく申し訳なく思っております。

先日の例会が富津中央RCらしくない雰囲気だったとお聞きしました。このような事は十数年前にもあったように記憶しています。物事を判断する上で、認識の違いが生じる原因は、正確に事象を把握していなかったり、配慮が行き届かなかったり、ルールから少しずれたり、気を使いすぎたり、物事を拡大したり、矮小化したりすることによると思います。このような事は気が付かないだけで日常茶飯事起こっています。そんな時は、話し合っ理解しましょう。仲の良さに勝る事はありません。私達が会えるのは年間でたった四十八日の例会です。時間は、わずか四十八時間しかありません。限りある人生の中で、心豊かな人と接する貴重な時間を笑顔で有意義に大切に過ごしたいと思っております。

十数年前の例会に起きて、クラブの融和についてお話をさせて頂いた原稿がありました。皆様に配布しますので、ご一読頂きご理解を賜りたいと思っております。

其の1 原点を見つめ創立の思いをつなげよう

皆さんもご存知のように、シカゴで生まれたロータリークラブには最初から細かな規則があったわけではありません。数人の親しい友人が集まって和気藹々と何気ない会話をしていた事から始まっています。私はこの姿こそロータリーの引く継ぐべき要素であり原点であると思っております。クラブ運営で大切なことは、解り合える関係であり、その信頼に基づいて解決に導くことであります。私達が気を配るべき事は、原理原則論に捉われて本質を見失う事でも、規則を探って拙速に結論に導く事でもありません。時間をかけて心を開き寛容の精神でお互いを理解することであり、その胸の内を思いやることだと思っています。

私達富津中央ロータリークラブは、それを受け継いできました。そして創立から半世紀を迎えようとしています。

先人の知恵と伝統の素晴らしさを次の世代に継いでいきたいと思っています。言うまでもなくロータリークラブは、奉仕団体であり、その持てる力で最大限の奉仕をいかにするかを第一義に考えるべきであると思っております。

ロータリーの規則は決して就業規則に類するものではありません。

時代、価値観、クラブの状況、会員各自の意識、会員の職業等の変化に対応してきたものであります。奉仕の理想の追求のための羅針盤の一つとしてとらえてはどうでしょうか。そして、これからも私達の手でより温もりのある規則に変化させなければならぬと思っています。

会員は、奉仕団体に所属する独立した個人です。それぞれの意思を尊重し、自らの発言と行動を律することが肝心です。そして、個々の行動を信頼し、今ある事を、あるがままに理解しようと努力することが必要であると思っています。枝葉末節にこだわらず創立時を超える熱気を以って、クラブ全体の奉仕と心のベクトルを揃える事が大切であると私は考えています。

其の2 規則の必要ないロータリークラブ

会社は就業規則によって社員の賃金、休暇、職務等細かく定めている。そして、就業上で社員が違った解釈が出来ないように文言によって明示されている。これは、雇用関係の中でトラブルを回避するためであります。

ロータリークラブは、個人が自発的に社会に貢献しようとする意思によって組織されている団体であります。だからこそ個々の取組みに差があることは当然であり、解釈が異なってもすべて寛容の精神によって解決できるものと思っています。細かな規則があってもなくてもロータリーの秩序が乱れることはありません。

あえて云うなら、私達ロータリアンの行動規範は4つのテストです。

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 行為と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか

ロータリークラブの奉仕とは、みんなが同じ条件の下、同じ事を同じ時間を費やしてする事ではありません。その時々で、出来る者が、出来る事を、出来る人とやる。俺が出来るから、お前もやれと言うこと

ではない。それぞれの人生と同じで全部異なっています。

奉仕の量 社会への貢献 奉仕の時間
奉仕の質 奉仕の目的
ニコニコへの寄与 募金への関与
職業奉仕の実践 社会への貢献度
例会への出席 クラブでの役割 行事への参加
寄付額の差 財団 米山 ポールハリスフェロー
ベネファクター 地区諸会議 グループ活動等
すべてが違って当然です。

違いを認め合うことの感性を育てる事こそ、ロータリーを体得することだと思います。

卓話

『のぞみのおしごと事情』

津田 望 会員



今日は、私の仕事についてお話ししたいと思います。私がなぜ今の仕事に就いて、東京から木更津の地へ移転し、またこれまでのいくつかの施設建設やそれを発展させてきた理由を、お話ししたいと思います。時間制約のため、内容を半減させ早口でお話しいたします。

私は1986年に、15年間滞在した英国より言語病理士(または臨床言語士:障がいを持つ小児や成人の、言語やスピーチの障がいの診断などを行う)の資格を取得し帰国しました。当時その全英圏資格は日本では唯一のものでした(現在何人いるのかは定かではない)。帰国後すぐに大学での教員の職を頂き、専門分野(言語病理学)と英語一般を教えておりました。しかし帰国後臨床を始めたかった私には、大学での職は日々悶々としておりました。

た。

そこで私は一念発起して、小児の療育専門施設「のぞみ発達クリニック」を東京の保育園の3階部分を貸与していただき開始しました。最初は登録児9人を2人の職員と共に療育を始めました。しかし4～5年後には登録児450人になりスタッフも20人近くになり、広いところを求めて日本中探し回ることとなりました。ふとしたことから木更津の真里谷というところに理想の土地が見つかりすぐに取得を決意し、そこから現在に至るまで、私の夢の実現に突き進んだのです。その頃には、14年間の教職を辞して臨床を一筋に行っていました。

木更津で小児のための日本で、いえ多分世界で最初の総合的な療育施設「のぞみ牧場学園」を療育専門職員15名と共に作り上げました。その後、学園への入園が叶わず待機児が年々急増したために、待機児のための「のぞみサポートセンター市原」と「木更津」を立ち上げました。そして就学のために毎年数十名の子どもたちが学園やセンターを巣立っていきました。

その後その子どもたちが学校を卒業し成人して社会へ出た時に、なかなか働ける場がないことを知り、通える場としての「のぞみワークショップ」、そして働ける場の「ベーカリーのぞみパンデリア」を作ることになり、そこでは30人以上の障がいをもつ成人が働き、通えるようになりました。

しかしその利用者の生活に目を向けると、ほぼ全員が家族と住んでおり、自立とは程遠い環境の中での生活を目の当たりにしました。不安を抱えた80歳の保護者が50歳の障がいの子どもの手を引き生活することは健全とは言えません。そこでグループホームの設立を決意し、生涯住めるようなホームを建設しました。私の事業はそこが終着点かと思っ
ていましたが、その後当事者やその家族があまりにリクレーションとは程遠い生活をしていることを知りました。そこで家族やペットも一緒に集えて楽しめる場「Café のぞみ」の建設を次に決断しました。そこは音楽やイベントだけではなく、家族がお友達と一緒に楽しめたり、保護者が談話をしながら学びの時を持ったり、講習会・研修会、趣味の会や習い事な

どを誰でも行えるCafé です。今も毎月何十人もの保護者やその友人が集っています。

私は現在、社会福祉法人を運営しておりますが、これまでの施設拡大は無軌道に行ったのではなく必然性があったことをご理解いただけたと思います。そして結果的に「ゆりかごから墓場まで」の福祉を実現するものとなりました。これは私が滞在していた英国の社会福祉実現の標語そのものを体現したと言えます。その点で、私は英国には大きく影響されました。英国の大学から「Sadler's & Well's Scholarship」という名誉ある奨学金を頂き勉強を貫徹できたことで、日本に於いて、障害をもつ子どもや成人また保護者に寄り添う使命を与えられ実現しつつあります。それらを通し、これまでの経緯に心から喜びを抱き感謝をする者でございます。

ニコニコBOX

志波生朗 親睦担当部員



* 平川恵敏 誕生祝を頂いて

* 新橋悠美瑛 //

津田 望 卓話を聞いて下さりありがとうございます。

相川恵津子 昨日メーキャップデビューしました。城臺さんの卓話とてもよかったです。

神子 恒 移動例会マザー牧場楽しく過ごさせて頂きました。

渡辺哲夫 マザー牧場移動例会お世話さまでした。

* 栗原典子 マザー牧場夜間例会、行けなくてすいませんでした。

* 榎本守男 神子会長・朝月幹事ご活躍期待しています。

三枝一雄 ロータリーの友俳壇入選しました。又

「戦後70年を迎えて」次週最終号となります。

小野恒靖 吉報です。三枝先生ご夫妻でロータリーの友俳壇に入選しました。

朝月真次郎 榎本 AG・津田会員の卓話を聞かせて頂いて。

志波生朗 //

須藤 隆 望さんの素晴らしい卓話を聞いて。

渡辺 務 //

高橋裕之 //

若鍋武良 //

山下 厚 //

岡田良弘 //

* >1,000円 合計25,000円

出席報告

平川恵敏 出席担当部員

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	37/36	27	10	0	73.97%
前回	37/36	24	11	1	68.57%
前々回	37/36	26	11	0	72.22%

出席率の計算式

$$\frac{\text{当日出席した会員数} + \text{Makeupした会員数}}{\text{全正会員数} - \text{当日欠席した免除適用会員数}}$$

理事会報告

朝月真次郎 幹事

- 9月及び8月プログラムの再確認
9/5 誕生祝：津田会員・星野会員、卓話：志波生朗会員、理事会
9/12 卓話：三枝一雄会員
9/19 卓話：榎本守男会員
9/26 卓話：三幣政紀会員
8/22 追加事項、お客様として富津シティロータリークラブより数名が参会。
8/29 追加事項、お客様として木更津東ロータリークラブより数名が参会。
- 地区行動推進リーダーより依頼のクラブ行

動推進リーダーの選出について、8月中に決定することになった。

3. 9月28日開催の「ロータリー財団セミナー」に、若鍋会員、岡田会員、渡辺哲夫会員の3名が参加することとなった。

4. ロータリーの友「地区代表委員」から依頼のアンケートを例会内で確認することになった。

5. 地区補助金プロジェクト委員会よりのお知らせについて

(1) 富津中央RCこどもの未来食堂の代表である神子勝美会員より、2024-25年度地区補助金として102,557円の振込確認の報告があった。こちらは3年継続可能なもので今年が1年目であるが、最終的には「こどもの未来食堂」の自立を目的とする補助金であることと、はらぺこ応援団様との打合せ内容の報告もあった。

(2) 神子会長より、その他の地区補助金(最終3月申請)としては障害者支援を行いたく、津田会員との話し合いがあった。また事業として申請要望がある場合は会長もしくは理事会に申し出を行うよう指示があった。

6. その他

(1) 富津中央RCの名刺に関して

第2回理事会(7/11)および第3回例会内で議論された公式名刺について、最終的な決定として、『全会員ではなく希望者のみ、クラブが全額ではなく半額を負担する』となった。尚、名刺作成希望者については例会内で確認の回覧が行われる。

(2) 例会の準備および卓話について

例会の運営については一部会員の負担が大きいの発議があり、『例会準備は11時30分からを目安に、卓話は原則として卓話者自身が準備・進行を行うこと』となった。